

## DIAM世界インカム・オープン(毎月決算コース)

### 愛称:世界三重奏

追加型投信 / 海外 / 資産複合  
月次運用レポート  
2012年5月

#### 商品の特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。

実質的に外国債券、外国株式、外国リート\*に投資を行い、安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。

\*リートとは、不動産投資信託証券をさします。

各資産への投資は、外国債券：DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド、外国株式：DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド、外国リート：DIAM US・リート・オープン・マザーファンド、DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドを通じて行います。

毎月決算を行い、安定的な収益の分配を継続的に行うことをめざします。

・毎月26日(休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、原則として利子・配当等収益を中心に分配を行います。

・毎年6月および12月の決算時には、原則として利子・配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配を行います。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

#### 主なリスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

資産配分リスク ... 当ファンドの実質資産配分において、収益率の悪い資産への配分比率が大きい場合、基準価額が下がる場合があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

金利リスク ..... 一般的に金利が上昇すると債券、リートの価格は下落します。当ファンドは、実質的に債券、リートに投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。

株価変動リスク ... 当ファンドは、実質的に株式に投資をしますので、株式市場の変動により基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。

リートの ..... 実質的に投資対象とする不動産の価値および当該不動産による賃貸収入等の変動により、当ファンドの基準価額が上下します。これにより投資元本を割り込むことがあります。

為替リスク ..... 当ファンドは、実質組入外貨建資産について原則として対円で為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク ..... 実質的に投資する債券、株式、短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、実質的に投資対象とするリートが、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

流動性リスク ..... 実質的に市場規模が小さい株式等に投資する場合や実質的に投資したリートによっては、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかったり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

カントリーリスク ... 実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額が下がる要因となります。これにより投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料は8枚ものです。P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。  
なお、別紙1も併せてご確認ください。**

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

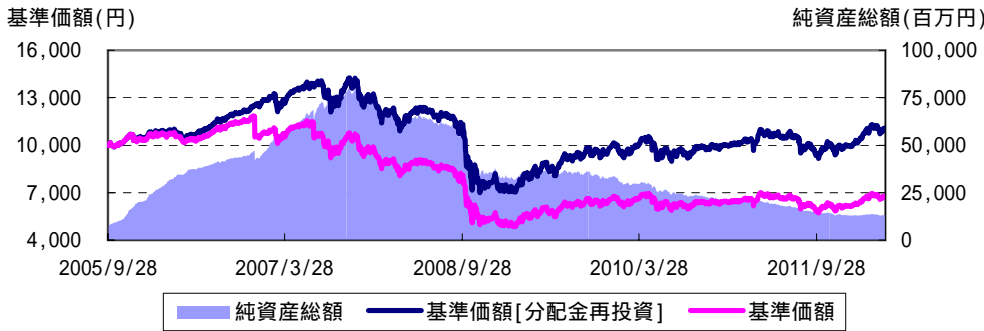
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース） 愛称：世界三重奏  
 追加型投信 / 海外 / 資産複合  
 月次運用レポート（2012年5月）

運用実績の推移



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)  
 ( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。(設定日：2005年9月29日)  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	6,765 円
解約価額	6,745 円
純資産総額	13,010 百万円
設定日	2005年9月29日
決算日	原則として毎月26日 (休日の場合は翌営業日)

分配金情報(税引前)

				直近3年分	
第42期 (2009.05.26)	20 円	第54期 (2010.05.26)	20 円	第66期 (2011.05.26)	20 円
第43期 (2009.06.26)	20 円	第55期 (2010.06.28)	20 円	第67期 (2011.06.27)	20 円
第44期 (2009.07.27)	20 円	第56期 (2010.07.26)	20 円	第68期 (2011.07.26)	20 円
第45期 (2009.08.26)	20 円	第57期 (2010.08.26)	20 円	第69期 (2011.08.26)	20 円
第46期 (2009.09.28)	20 円	第58期 (2010.09.27)	20 円	第70期 (2011.09.26)	20 円
第47期 (2009.10.26)	20 円	第59期 (2010.10.26)	20 円	第71期 (2011.10.26)	20 円
第48期 (2009.11.26)	20 円	第60期 (2010.11.26)	20 円	第72期 (2011.11.28)	20 円
第49期 (2009.12.28)	20 円	第61期 (2010.12.27)	20 円	第73期 (2011.12.26)	20 円
第50期 (2010.01.26)	20 円	第62期 (2011.01.26)	20 円	第74期 (2012.01.26)	20 円
第51期 (2010.02.26)	20 円	第63期 (2011.02.28)	20 円	第75期 (2012.02.27)	20 円
第52期 (2010.03.26)	20 円	第64期 (2011.03.28)	20 円	第76期 (2012.03.26)	20 円
第53期 (2010.04.26)	20 円	第65期 (2011.04.26)	20 円	第77期 (2012.04.26)	20 円
				累計分配金	4,510 円

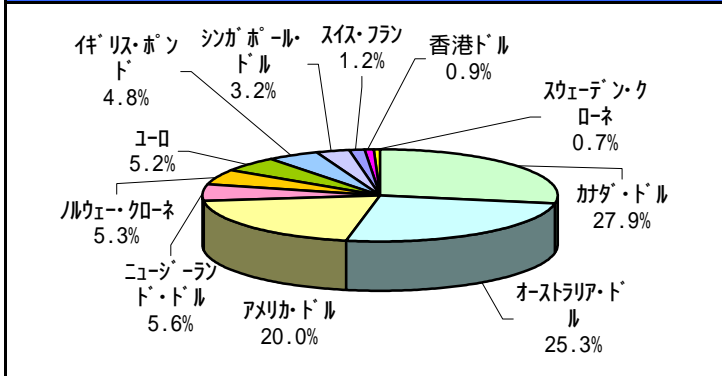
- 1 分配金は1万口当たり
- 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決めます。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1カ月 (2012/03/30)	3カ月 (2012/01/31)	6カ月 (2011/10/31)	1年 (2011/04/28)	2年 (2010/04/30)	3年 (2009/04/30)
当ファンド	0.03%	9.05%	8.30%	1.40%	5.71%	35.95%

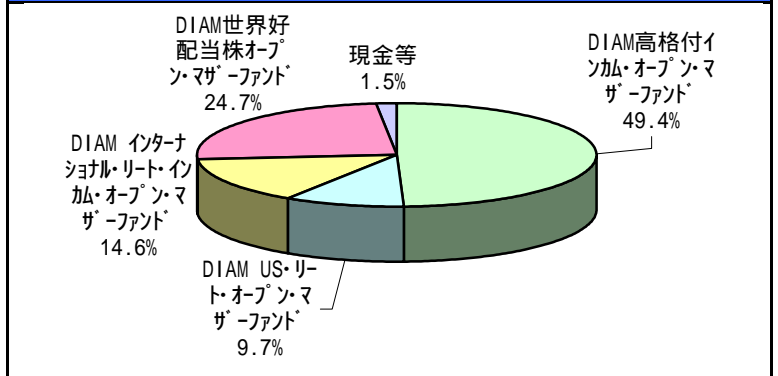
- 1 当ファンドの騰落率は税引前の分配金を再投資したものと計算しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。
- 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

通貨別構成比



比率は当ファンドが実質的に投資している有価証券評価額に対する割合です。

マザーファンド組入比率

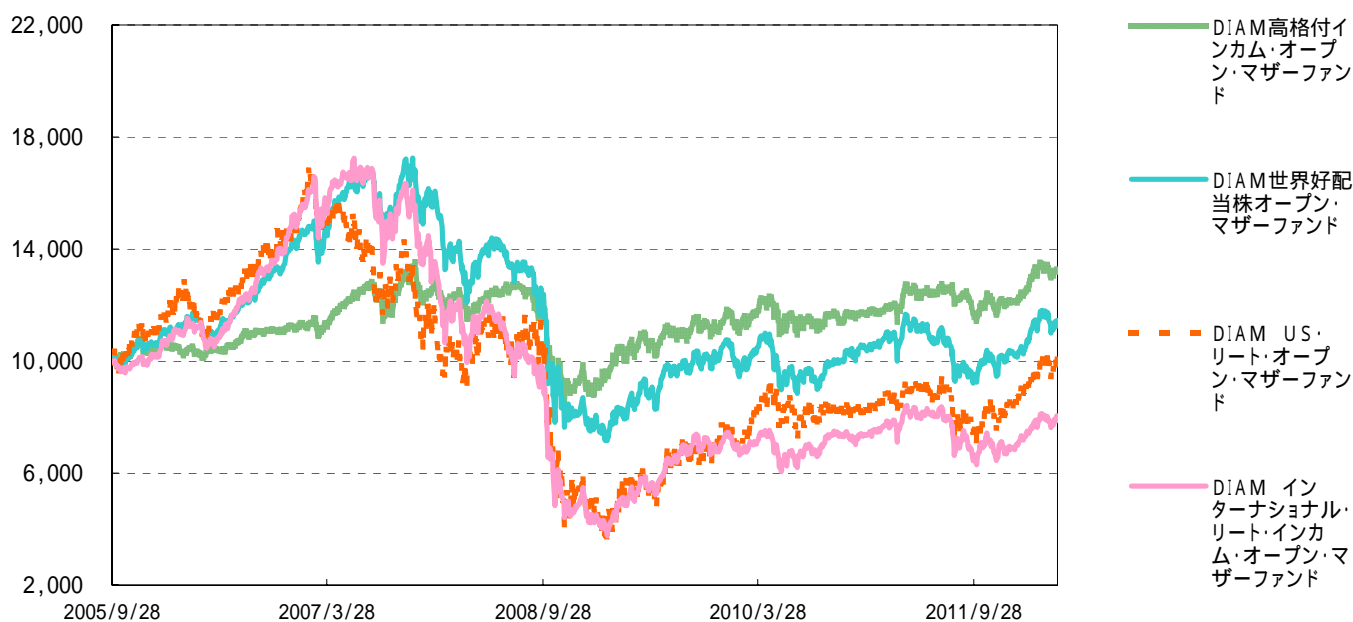


比率は純資産総額に対する割合です。

当資料は8枚ものです。  
 P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース） 愛称：世界三重奏  
 追加型投信 / 海外 / 資産複合  
 月次運用レポート（2012年5月）

各マザーファンドの基準価額の推移



基準価額は2005年9月28日の値を10,000として指数化しております。

各マザーファンドの騰落率

ファンド名	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	2年	3年
DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド	-0.17%	7.15%	6.83%	4.29%	7.77%	28.80%
DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド	-0.83%	11.31%	10.25%	-0.51%	6.44%	39.47%
DIAM US・リート・オープン・マザーファンド	1.35%	13.66%	18.57%	9.74%	9.63%	76.97%
DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	1.88%	11.46%	8.04%	-3.75%	8.57%	60.70%

【外国債券】 DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド

基準価額 16,769 円  
 純資産総額 466,839 百万円

格付別構成比

	組入比率	銘柄数
A A A	85.28%	120
A A	14.72%	22
合計	100.00%	142

1 比率は組入有効証券評価額に対する割合です。  
 2 格付については、海外格付機関（S&PおよびMoody's）による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表示方法にあわせて表記しています。

通貨別構成比

通貨名	組入比率
カナダ・ドル	45.06%
オーストラリア・ドル	35.19%
ニュージーランド・ドル	10.00%
ノルウェー・クローネ	9.75%
合計	100.00%

比率は組入有効証券評価額に対する割合です。

ポートフォリオの状況

平均複利回り	3.11%
平均クーポン	5.27%
平均残存期間	6.99
修正デュレーション	5.33

DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの純資産総額を基に計算しています。

当資料は8枚ものです。  
 P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



**DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース） 愛称：世界三重奏**  
**追加型投信 / 海外 / 資産複合**  
**月次運用レポート（2012年5月）**

**【外国株式】 DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド**

基準価額 12,407 円  
 純資産総額 42,109 百万円  
 組入上位10銘柄

組入銘柄数：121銘柄

No	銘柄	国名	業種	比率(%)	配当利回り
1	フィリップモリスインターナショナル	アメリカ	タバコ	2.52	3.28%
2	ロイヤル・ダッチ/シェル	イギリス	石油・ガス・消耗燃料	2.17	4.69%
3	ブリティッシュ・アメリカン・タバコ	イギリス	タバコ	1.83	4.41%
4	ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品	1.77	4.12%
5	グラクソ・スミスクライン	イギリス	医薬品	1.65	5.54%
6	ボーダフォン・グループ	イギリス	無線通信サービス	1.60	5.91%
7	ノバルティス	スイス	医薬品	1.47	4.50%
8	ネスレ	スイス	食品	1.44	3.52%
9	トタル	フランス	石油・ガス・消耗燃料	1.36	6.25%
10	B A S F	ドイツ	化学	1.09	3.84%

- 1 比率は組入有価証券評価額に対する割合です。  
 2 配当利回りは、過去1年の発表済み配当金額を基に表示しています。将来の運用成果等を保証するものではありません。  
 3 外国株式には不動産投信（リート）を含む場合があります。

**【外国REIT（リート）】 DIAM US・リート・オープン・マザーファンド**

基準価額 14,542 円  
 純資産総額 73,579 百万円

組入銘柄数：32銘柄

組入上位10銘柄

No	銘柄	国名	比率(%)
1	サイモン・プロパティ・グループ	アメリカ	6.69
2	ザ・メイスリッチ・カンパニー	アメリカ	5.98
3	DCTインダストリアル・トラスト	アメリカ	5.79
4	アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	アメリカ	5.42
5	エンターテインメント・プロパティーズ・トラスト	アメリカ	5.36
6	ベントス	アメリカ	5.25
7	アメリカンキャンパス・コミュニティーズ	アメリカ	4.41
8	エセックス・プロパティ・トラスト	アメリカ	4.19
9	リパティ・プロパティ・トラスト	アメリカ	3.94
10	デジタル・リアルティ・トラスト	アメリカ	3.86

比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

**【外国REIT（リート）】 DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド**

基準価額 12,273 円  
 純資産総額 110,668 百万円

組入銘柄数：55銘柄

組入上位10銘柄

No	銘柄	国名	比率(%)
1	CFSリテール・プロパティ・トラスト	オーストラリア	7.69
2	ユニベイル・ロダムコ	フランス	7.14
3	ミルバック・グループ	オーストラリア	6.82
4	インベスタ・オフィス・ファンド	オーストラリア	5.09
5	メープルツリー・ロジスティクス・トラスト	シンガポール	3.84
6	ストックランド	オーストラリア	3.61
7	アセンダス・リアルエステイト・インベストメント・トラスト	シンガポール	3.58
8	チャーター・ホール・リテール	オーストラリア	3.46
9	アライド・プロパティーズ	カナダ	3.17
10	ブリティッシュ・ランド・カンパニー	イギリス	2.95

比率は組入有価証券評価額に対する割合です。

当資料は8枚ものです。  
 P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース） 愛称：世界三重奏  
追加型投信 / 海外 / 資産複合  
月次運用レポート（2012年5月）

### 当月の運用概況

当ファンドの基準価額は前月末比0.03%上昇しました。当ファンドでは4つのマザーファンドへの配分比率は原則として以下の基本配分比率とします。各マザーファンド受益証券の時価の変動等により、時価構成比が変化した場合には、定期的に基本配分に修正します。

基本配分比率は以下の通りです。

外国債券：DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド：50%

外国株式：DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド：25%

外国REIT(リート)：DIAM US・リート・オープン・マザーファンド

DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド：合計25%

4月末の各マザーファンドの基準価額は、前月末比でDIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド 0.17%、DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド 0.83%、DIAM US・リート・オープン・マザーファンド+1.35%、DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド+1.88%となりました。

各資産の運用概況につきましては、後述の各マザーファンドの運用概況をご覧ください。

### DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの運用概況

債券市場では、多くの国・地域で利回りが低下（価格は上昇）しました。米国では雇用統計など多くの経済指標が市場予想を下回り、景気回復の鈍化が示唆されたことから利回りは低下しました。ユーロ圏では、フランス大統領選挙でEU（欧州連合）財政協定の再交渉を掲げる候補が優勢となるなど、政治の不透明感が債務危機への懸念を煽り、ドイツ国債の利回りは低下しました。当マザーファンドの組入国では、インフレ率が低下し利下げ期待が高まったオーストラリアを中心に全ての国で利回りが低下（価格は上昇）しました。

為替市場では、米国雇用統計が市場予想を下回ったことや、ユーロ圏の一部の国で政治情勢が不透明化したことを背景に、リスク回避的な動きが強まり、米ドルやユーロといった主要先進国通貨が円に対して下落しました。当マザーファンドの組入通貨では、全ての通貨が円に対して下落（円高・現地通貨安）しました。利上げ時期が早まるとの見方が広がったカナダドルも小幅ながら円に対して下落しました。

当月、当マザーファンドでは基本国別投資比率（カナダ45%、オーストラリア35%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）に沿って運用しました。ポートフォリオの平均残存期間については前月末とほぼ同様の水準としました。

DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンドの基準価額は、全ての組入通貨が円に対して下落（円高・現地通貨安）したことを主因に0.17%下落しました。

ユーロ圏で景気後退局面を迎える国が増加していますが、北米では着実に景気が改善しているほか、中国の景気減速も緩やかなものとなる公算が高まっています。多くの主要国が極めて緩和的な金融政策を継続する見込みであるため、世界景気の緩やかな拡大局面が続くものと見ています。世界の債券市場では、主要国での低金利政策を受けて、利回りは総じて低水準で推移することが予想されます。当マザーファンドの組入国では、景気サイクルに差異があるため、国によりまちまちの動きになると予想しています。為替市場では、低金利環境により商品市況がサポートされやすい環境であることに加え、財政など経済構造が良好な国が資金の投資先としての需要を集めているため、当マザーファンドの組入通貨が上昇しやすい環境であると見ています。ただし追加利下げが予想されるオーストラリアについては、短期的に通貨安となる可能性があると見ています。

当マザーファンドでの運用方針は、基本国別投資比率（カナダ45%、オーストラリア35%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）に沿った比率を維持する予定です。ポートフォリオの平均残存期間については、現状とほぼ同様の水準を維持する予定です。

上記のマーケット動向と各ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は8枚ものです。

P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース） 愛称：世界三重奏  
追加型投信 / 海外 / 資産複合  
月次運用レポート（2012年5月）

DIAM US・リートオープン・マザーファンド / DIAM インターナショナル・リートインカム・オープン・マザーファンドの運用概況

4月のリート市場は、スペイン財政に対する不安が高まったことや、フランスとオランダの政局不安が浮上したことなどから下落する局面もありましたが、企業やリートによる決算発表が支援材料となり、前月末比では上昇しました。

米国リート市場は、3月の雇用統計において非農業部門雇用者数変化が市場予想を大幅に下回ったことや、欧州債務懸念が再燃したことなどから月半ばに大きく下落する局面もありましたが、一部の主要企業が良好な内容の決算を発表したことや、3月の小売売上高が市場予想を上回ったことなどから、月末にかけて上昇しました。

米国のリートに投資するDIAM US・リート・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比で1.35%上昇しました。月内の主なオペレーションとして、ボルナド・リアルティ・トラスト(混合型)を買い増しました。

米国以外の地域については、欧州リート市場を除く地域で上昇しました。

オーストラリアリート市場は、RBA(オーストラリア準備銀行)が政策金利の据え置きを発表したことは悪材料となったものの、その後、利下げ期待が高まったこと、デクサス・プロパティ・グループ(混合型)やウエストフィールド・グループ(小売)などがバランスシートの強化に向け米国の保有物件の売却を相次いで発表したことが好感され、上昇する展開となりました。

欧州リート市場は、スペイン国債の入札や利回りの上昇に対する警戒感が高まったことに加え、米国の雇用統計も悪材料となり、月前半に大幅に下落しました。その後、4月のZEW景況感調査やIFO企業景況感指数など、ドイツの経済指標が好調だったことが好感され、上昇する局面もありましたが、フランスとオランダの政局不安が浮上したことや、4月のユーロ圏総合景気指数が前月比で低下し市場予想も下回ったことなどを背景に、月後半も下落基調となりました。英国では、3月の小売売上高が市場予想を上回ったことが支援材料となり、前月末比で小幅に上昇しました。

アジアリート市場は、中国の2012年1-3月期のGDP(国内総生産)が5四半期連続の鈍化となったことをはじめ、一部の経済指標が冴えない内容だったものの、これを受けて中国の金融緩和期待が高まったことから、概ね堅調な展開となりました。シンガポールでは、リートによる良好な内容の決算発表が相次いだことも上昇要因となりました。

米国以外のリートに投資するDIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比で1.88%上昇しました。

月内の主なオペレーションとして、インベスタ・オフィス・ファンド(オーストラリア・オフィス)の一部売却を行いました。

DIAM世界好配当株オープン・マザーファンドの運用概況

4月の外国株式市場は概ね下落しました。米国株式市場は、月初に発表された3月のISM製造業景況指数は改善したものの、直後に発表されたFOMC(米連邦公開市場委員会)議事録において追加緩和の必要性が示唆されなかったことを受けて、追加緩和期待が後退したこと等が嫌気され下落しました。その後発表された米国の雇用統計は、予想を大幅に下回る内容となり、株式市場は急落する展開となりました。月の後半にかけては、ECB(欧州中央銀行)の一部メンバーがスペイン国債購入プログラムの再活用を示唆したことやイタリア国債の入札が無難に終わったこと、1-3月期の企業決算が概ね堅調な内容となったことなどが好感され、月初からの下げ幅を縮小して取引を終えました。欧州株式市場も同様の展開となりました。アジア株式市場は方向感に乏しい展開でした。キャピタルゲイン課税導入への不安から台湾市場が下落した一方、中国市場など一部のアジア株式市場は上昇しました。

業種別では、これまで堅調だった資本財やテクノロジー、欧州債務問題を受けた金融、軟調な原油価格の影響を受けたエネルギーセクターの下落が大きかった一方で、収益が相対的に安定している公益や生活必需品セクターは底堅い動きとなりました。為替市場では、米国景気に対する懸念や欧州債務問題の再燃により円が主要通貨に対して上昇したため、ファンドのリターンにはマイナス要因となりました。

当月の主な投資行動としては、素材セクターのウェイトを引き下げた一方、公益セクターのウェイトを引き上げました。また、地域では、オセアニアのウェイトを引き下げ、アジアのウェイトを引き上げました。

4月のDIAM世界好配当株オープン・マザーファンドの基準価額は、0.83%下落しました。テクノロジーや公益関連銘柄の上昇がプラスに寄与した一方で、軟調に推移した資本財やエネルギー関連銘柄がマイナスに寄与しました。

当ファンドで保有している銘柄の平均利回りは月末時点で4.4%(現地源泉税控除前)となっています。

上記のマーケット動向と各ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。



モーニングスター アワード「ファンド オブ ザ イヤー2011」  
「優秀ファンド賞(バランス型 部門)」受賞

Morningstar Award "Fund of the Year 2011"は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2011年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。バランス型 部門は、2011年12月末において当該部門に属するファンド547本の中から選考されました。

当資料は8枚ものです。

P.8の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



**DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース） 愛称：世界三重奏**  
**追加型投信 / 海外 / 資産複合**  
**月次運用レポート（2012年5月）**

**お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口 = 1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所、ロンドン証券取引所、オーストラリア証券取引所、ニューヨークの銀行、カナダの銀行の休業日またはオランダ、フランス、イギリスの祝祭日に該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限です。(設定日:2005年9月29日)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。 受益権口数が10億口を下回ることとなった場合。 受益者のために有利であると認めるとき。 やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として毎月26日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算日に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金自動けいぞく投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

**お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。  
 詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	<b>購入価額に2.625%(税抜2.5%)を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。</b> くわしくは販売会社にお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	<b>ありません。</b>
信託財産留保額	<b>換金申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じて得た額とします。</b>
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用 (信託報酬)	<b>信託財産の純資産総額に対して年率1.26%(税抜1.2%)を日々ご負担いただきます。</b>
その他費用・ 手数料	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。) なお、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示していません。

当資料は8枚ものです。

P.8の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAMアセットマネジメント**



**DIAM世界インカム・オープン（毎月決算コース） 愛称：世界三重奏**  
**追加型投信 / 海外 / 資産複合**  
**月次運用レポート（2012年5月）**

**投資信託ご購入の注意**

投資信託は、  
 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。  
 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。  
 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

**当資料のお取扱いについてのご注意**

当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。  
 お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。  
 当資料はDIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。  
 当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。  
 当資料における内容は作成時点（2012年5月11日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。  
 当ファンドは、実質的に株式、債券、不動産投信（リート）等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

ファンドの関係法人  
 < 委託会社 > DIAMアセットマネジメント株式会社  
 < 受託会社 > みずほ信託銀行株式会社  
 < 販売会社 > 販売会社一覧をご覧ください  
 < 投資顧問会社 > デービス・セレクトド・アドバイザーズ  
 コロニアル・ファースト・ステート・アセット・マネジメント  
 DIAM U.S.A., Inc. DIAM International Ltd

委託会社の照会先  
 DIAMアセットマネジメント株式会社  
 コールセンター 0120-506-860  
 (受付時間：営業日の午前9時～午後5時)  
 ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

**販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）**

印は協会への加入を意味します。

2012年5月11日現在

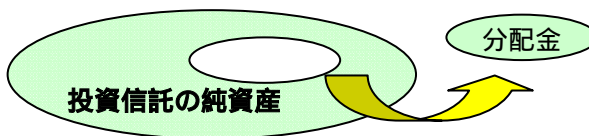
商号	登録番号等	日本証券 業協会	社団法人 日本証券 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会	備考
楽天銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号					
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第1号					
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第115号					
東京海上日動火災保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第135号					
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号					
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号					
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第8号					
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号					
むさし証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号					
東武証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第120号					
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号					
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号					
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号					
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第170号					
ばんせい証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第148号					
フィリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第152号					
三田証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第175号					
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号					
オリックス銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第11号					1
野村證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号					1

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。  
 また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。  
 < 備考欄について >  
 1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。  
 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。  
 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。  
 (原則、金融機関コード順)

当資料は8枚ものです。

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

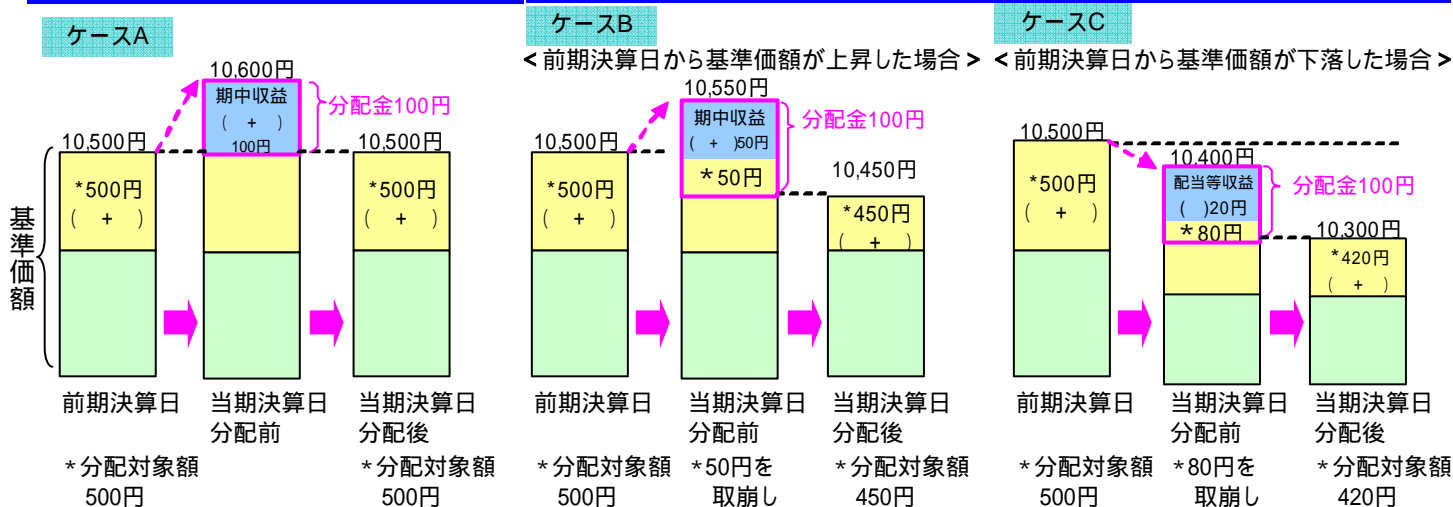
### 分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、有価証券売買益・評価益(経費控除後)、分配準備積立金、収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



上図のそれぞれのケースにおいて、前期決算日から当期決算日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

- ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
- ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円
- ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

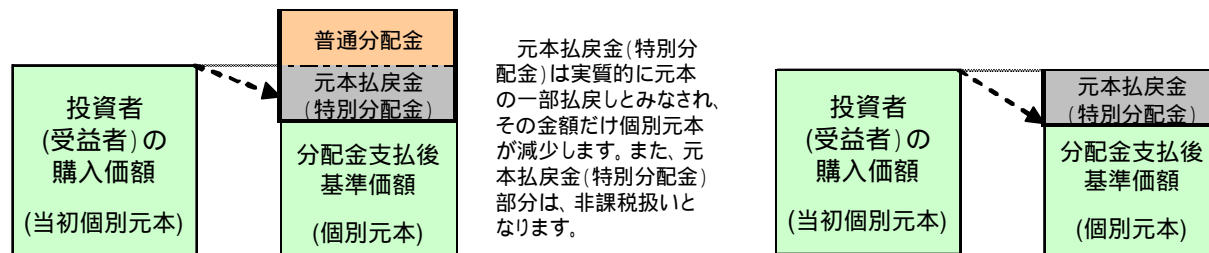
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



**普通分配金**: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金(特別分配金)**: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。  
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。